

SHIRATAKA
PUBLIC
RELATIONS



しらたか 広報

2.12
FEB 2008
NO.986

「白鷹町保育の将来ビジョン」答申②

- 各種審議会等委員を募集します④
- パブリックコメントで意見と回答⑤
- 健康で安全な暮らしの財源のために⑥
- 広報紙に有料広告を募集します⑧



ココロの中の「悪いオニ」を退治 — 節分豆まき（2月1日・あゆかい保育園）

昔話をもとに「みんなの中にもオニがいる」というお話を先生から聞いていた園児たち。すると「ドスン、ドスン」という金棒を突く音とともに、赤オニと青オニが遊戯室に入ってきました。園児たちは勇気を出し、煎った大豆を「オニはーそと！」と叫びながら、オニに投げつけました。オニたちはだんだん力を落とし、西山の向こうへと逃げ帰りました。

「白鷹町保育の将来ビジョン」について

答申をいただきました

町は、急激な少子社会に対応する保育所のあり方について、白鷹町保育所運営検討委員会（会長 丸川敬浩）に諮問していただきましたが、平成20年1月17日、次のように答申いただきましたのでお知らせします。今後は、答申を尊重し、施策の具現化に努めてまいります（諮問事項については、広報しらたか11月12日号をご覧ください）。

白鷹町保育の将来ビジョンについて(概要)

1 保育園運営にかかわる基本的考え方

保育を取り巻く状況、保育園に望まれている役割を踏まえ、保育水準の維持を確保し、将来にわたり柔軟かつ効率的な保育園運営を確立する。また、良好な保育園運営のため、監査体制の構築を望む。

①これからの保育の視点

- 保育園の充実と在宅で子育てするかたへの支援の充実を図る。
- 働く親を支援する利用しやすい保育園を目指す。

● 子どもの安全・安心を確保し、保育ニーズへの対応など子育て環境の向上に努める。

②保育園の効率的な運営の視点

- 保育園の運営は、民営化を基本とし段階的に進める。
- 民営化によって確保する財源・人材を活用し保育サービスの向上に努める。
- 民営化にあたっては、保護者などへの十分な情報公開、理解を求め進める。

③少子化に伴う対応

- こぐわ保育園・あゆかい保育園は、老朽化が激しく早

急に統合を検討し、施設整備すべきである。

- こぐわ・あゆかい保育園の整備にあたっては、子育て支援センターの併設など総合的な子育て支援の拠点づくりを行う。

2 適正な保育集団と施設の配置

保育園の配置については、施設状況、児童の推移などを考慮し進める。また、統合にあたっての適正規模や保育園の配置については、保育を効果的に達成できること、良好な保育環境の確保に留意する必要がある。

①統合の場合の

保育集団の規模

- 定員150人程度とし、うち3歳未満児については60人程度が望ましい。
- 乳児施設については、入り口、園庭などを別にし、安全・健康・衛生面に配慮する。
- 乳児施設を併設し、保護者の送迎などの負担軽減を図る。

②施設の配置について

- こぐわ、あゆかい保育園を統合する。よつば、ひがし

ね保育園は当面2園を配置する。

- 通園バスの運行を継続し通園時の安全・安心を確保するとともに統合にあたっては、運行時間を配慮する。

- 延長保育ニーズが高いことから保護者の送迎の利便性を考慮した施設配置が望ましい。

3 保育サービスの充実

保育サービスのニーズ把握については、保護者の意見を集めるためのアンケートの実施や子育てしやすい環境づくりの視点から、保護者の経済的負担の軽減が図られるよう配慮が求められる。

- 全園での乳児保育の実施や延長保育の時間延長など保育サービスの維持向上を図る。
- 子育て相談や在宅における子育て支援の充実を図るため、子育て支援センターの充実を図る。
- 保育料については、きめ細かい対応が望まれる。

「白鷹町美しい郷づくり推進会議」の 委員を募集します

町では、町環境基本計画を推進するため、白鷹町の住みよい美しい環境をともに考えともにつくる仲間を募集します。気軽に語り合いながら、町が目指す環境像を実現していきましょう。

●募集する委員の名称

白鷹町美しい郷づくり推進会議委員

●組織構成

この会議は、ごみの減量化や地球温暖化対策及び環境基本計画の推進活動を行います。ごみ減量化対策を進めるうえで廃棄物減量等推進員も兼ねて委嘱し、活動を行っていただいています。

●募集人員

5人程度（委員定数20人以内のうちの5人）

●任期

平成20年4月1日～平成22年3月31日

●応募資格

- (1) 町内に住所を有し、応募時点で満20歳以上のかた
- (2) ゴミの減量化や省エネ等の環境問題に興味のあるかた
- (3) 年6～8回程度の会議・啓蒙活動・およびイベントに出席できるかた
- (4) 白鷹町の議員及び職員でないかた
- (5) 次の基準を満たしているかた
 - ①納税の義務を果たしていること
 - ②公民権を有していること
 - ③破産宣告を受けていないこと
 - ④被法定後見人、被法定補佐人、被法定補助人でないこと
 - ⑤執行中の犯罪等がないこと

●応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ、町民税務課へ提出してください（応募用紙は町民税務課に用意してあります。町ホームページからもダウンロードできます）。

●応募締切

2月29日（金）当日消印有効

●その他

- (1) 応募者多数の場合は、「公募による白鷹町審議会等委員選考にかかる基準」を準用し選考のうえ、結果を通知します。
- (2) 委員には年間の活動に対し、謝礼を進呈します。

■問い合わせ 町民税務課

くらし・環境推進係（☎85-6131）

4

付帯意見

答申いただいた意見とともに、次のような意見をいただきました。

- 保育園の配置については親の就労先との関係が大きい
- が、四季の郷地内であれば若者定住策との連携、保育環境としても、その地域の魅力が増すと考える。
- 子どもが増えるような施策の構築が重要である。
- 小学校の統合に見られるように建設後10年程度で統合するということは予算の無

5

パブリックコメント

- パブリックコメントでいただいた町民意見は1件でした。
- 町による園運営の継続と職員を正職員とし、増員するよう要望します。
- 駄遣いである。また施設の有効活用も必要である。
- 公共施設の配置については、分散せず、トータルバランスを考慮してほしい。
- 保育園運営の水準の維持向上と会計監査の適正化など外部監査体制の構築を望む。

これまでの経過

- H19.6 第1回検討委員会
- H19.7 第2回検討委員会
- H19.8 保育士説明会・グループ検討
- H19.9 保育士グループ代表者会・意見取りまとめ
- H19.9 第3回検討委員会
- H19.10 町保育園保護者会役員会、意見聴取
- H19.10 第4回検討委員会
- H19.11～12 中間報告のパブリックコメント
- H19.11 町区長会で中間報告説明
- H19.12 議会総務厚生常任委員会で中間報告説明
- H20.1 町長に答申



※全文は、各保育園または町ホームページでご覧いただけます。

■問い合わせ

健康福祉課子育て支援係

☎86-0212 / FAX86-0115

E-mail: kenfuku@so.town.shirataka.yamagata.jp

協働のまちづくり条例の規定による公募

各種審議会等委員を募集します

●募集する審議会等委員の職務と人数、応募資格など

白鷹町社会教育委員（兼） 公民館運営審議会委員

- ①社会教育委員
社会教育に関し研究調査などを行い、教育委員会の諮問に応じ意見を述べる機関です。
- ②公民館運営審議会委員
教育委員会の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議する機関です。

- ▼募集人員 2人
- ▼応募資格
・町内に住所を有し、応募時点で満25歳以上のかた
・年10回程度の研修・会議などに出席できること
- ▼担当部署 教育委員会生涯学習・スポーツ推進係（☎8516147）

白鷹町地区公民館運営委員 会委員

地区公民館事業の企画立案、実施にあたることに、予算及び決算について審査する機関です。

- ▼募集人員 各地区公民館2人
- ▼応募資格
・各地区公民館が管轄する区域内に住所を有し、応募時点で満25歳以上のかた
・年12回程度の事業・会議などに出席できること
- ▼担当部署 教育委員会生涯学習・スポーツ推進係（☎8516147）

白鷹町文化財保護審議会委員

教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用について、調査審議する機関です。

- ▼募集人員 2人
- ▼応募資格
・町内に住所を有し、応募時点で満25歳以上のかた
・年3回程度の会議などに出席できること
- ▼担当部署 教育委員会文化振興係（☎8516146）

白鷹町病院事業等運営委員 会委員

病院事業管理者の諮問に応じ、病院事業等の運営に関して審議する機関です。

- ▼募集人員 3人

▼応募資格

- ・町内に住所を有し、応募時点で満20歳以上のかた
- ・年2～3回程度の会議などに出席できること
- ▼担当部署 町立病院事務局（☎8512155）

●応募資格（共通事項）

- ◆原則として、白鷹町他の審議会等の委員でないこと
- ◆白鷹町の議員及び職員でないこと
- ◆次の基準を満たすかた

- ①納税（町税等）義務を満たしていること
 - ②公民権を有していること
 - ③破産宣告を受けていないこと
 - ④被法定後見人、被法定保佐人、被法定補助人でないこと
 - ⑤執行中の犯罪がないこと
- 任期 平成20年4月1日～平成22年3月31日（白鷹町病院事業等運営委員会は平成20年7月1日～平成22年6月30日）

●応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ、所管部署に提出ください。（応募要項・応募用紙は各所管部署にあります。応募用紙は町ホームページからもダウンロードできます。）

1ムページからもダウンロードできます。）

●応募の締め切り

3月3日（月）当日消印有効（ただし、白鷹町病院事業等運営委員会は、5月30日（金））

●選考方法

委員等選考審査会で審査のうえ選考します。

●審査結果

応募者全員に通知します。

●その他

- ◆身分 町の非常勤特別職
- ◆委員報酬
- ①白鷹町社会教育委員・・・年1万6000円
- ②白鷹町公民館運営審議会委員・・・年9600円
- ③白鷹町地区公民館運営委員 会委員・・・年2万円
- ④白鷹町文化財保護審議会委員・・・年1万6000円
- ⑤白鷹町病院事業等運営委員 会委員・・・日6000円

（会議 時間が4時間未満の場合は一、日3000円）

◆各審議会等の委員は、町の非常勤特別職に任命されますので、白鷹町個人情報保護条例第3条第2項の適用を受けるとともに、同条例の規定に違反した場合（職務上知り得た個人の秘密を漏らした場合等）は罰則の対象となります。

結婚相談員を募集します

●活動内容 結婚に関する相談・仲人活動など

●任期 平成20年4月1日～平成22年3月31日

●募集人員 15人程度

●応募資格

- (1)町内に住所を有し、応募時点で満20歳以上のかた
- (2)結婚問題に熱意と関心があり、ボランティアとして活動できるかた
- (3)原則として月1回程度の会議に出席できるかた
- (4)次の基準を満たすかた

- ①納税（町税等）義務を満たしていること
 - ②公民権を有していること
 - ③破産宣告を受けていないこと
 - ④被法定後見人、被法定保佐人、被法定補助人でないこと
 - ⑤執行中の犯罪がないこと
- 応募締め切り
3月10日（月）当日消印有効
- その他 応募方法、選考方法、審査結果は上記の各種審議会等委員の募集と同じです。
- 申込・問い合わせ 産業振興課商工振興係（☎8516136）

P パブリック C コメント

- 案件名「白鷹町安全安心まちづくり条例（案）」について
- お寄せいただいたご意見 1人

パブリックコメントにご意見をお寄せいただきましたので、回答いたします。

ご意見 主に、第5条の重点施策の推進について。

1. 協働のまちづくりの理念を生かすについて

住民総参加の推進体制、つまり住民が一つ一つの重点施策に主体的に活動できるよう、どのように組織するか課題だと思えます。これまで行政主導の提案は、少なからず住民に十分浸透していなかったように思えます。それは「協働」の具体化の手順、方法の周知が不足していたからではないでしょうか。

※次の過程を大切にしたい(基本的な協働の理念の具体化)

- ①住民と関係行政機関とが「目的」を共有し合う。
- ②お互いの役割分担を明確にする。
- ③それぞれ対等な立場で責任を果たす。
- ④一つ一つの段階で目的が達成されていることを確認し、成果を評価し合う。そして次の目的に。

協働のまちづくり活動は上記①～④の姿が普通の状態になり、互いに活動の成果を確かめ合えることだと思えます。

2. 地域づくりのこれまでの動きについて

ここ数年来、暮らしの安心安全の地域づくりの動きがありました。たとえば災害弱者支援ネット、登下校の安全、健全育成活動、防災、防犯などへの取り組みです。地域によって取り組み方や組織の違いが見えますが、それぞれの特色を生かしながら推進体制に組み入れてほしい。

3. 第5条に加えたい項目

- ①食の安全
- ②感染予防（インフルエンザ、ノロウイルス）
- ③公園の遊具の安全

回答

貴重なご意見をいただき、大変ありがとうございます。

協働のまちづくり条例の基本理念にもありますように、町民の自発的な参画のもと、互いの役割と責任を分担し、町民と町とが一体となって安全で安心な住みよい地域社会の実現していくことが、この条例の目的でもあります。

このことを含めご意見の内容をより具現化するには、意識の高揚、情報の共有、人材の育成、推進体制の確立、ネットワークの構築などが課題と考えており、今後、連絡調整会議、情報・推進連絡網などの整備を予定しているところです。

食の安全、感染予防（医療の安全）について、広義では第5条の(7)号に含むものですが、許認可が関連すること及び専門性が高いため、国・県との連携を密にし、個別対策として対応したいと考えています。また、公園の遊具の安全については、第5条の(1)号及び(3)号に含むものです。

日常生活を営むなかで、安全がすべての基盤であります。安全で安心なまちづくりを進められるよう、今後ともよろしく願いいたします。

問い合わせ

総務政策課生活安全係

☎85-6122 / FAX85-2128

山形地方方法務局長井支局廃止における町の取り組みについて(経過)

先日、「山形地方方法務局長井支局を平成20年2月22日付けをもって廃止し、同月25日より米沢支局に統合する」旨のチラシが、山形地方方法務局より新聞に折り込まれました。

町では議会とともに、長井支局の存続を要望してまいりましたが、結果的に統合という形になりました。国の行政改革や、不動産登記がコンピューター化され、代替策としてインターネットでの交付申請などができるようになったことが理由のようです。

しかしながら、これまでどおり登記簿謄本などの交付を受けようとするには、法務局米沢支局または山形地方方法務局(コンピューター化で交付可能になる)まで足を運ばなければならず、大変不便になります。さらに、インターネット環境がないかた、またはコンピューターの知識に疎いかたなどにとっては、申請するにも容易ではありません。

それらを受け、白鷹町は長井市とともに、登記簿謄本などがその場で取得できる「証明書発行請求機」の設置を求めてきました。現在、山形地方方法務局では、長井市内に設置するよう検討中であるということです。

今後とも、町民の皆さまにご理解いただけるよう法務局に対し要望してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

■ 統合先 山形地方方法務局米沢支局 (〒992-0001 米沢市金池7-4-33 ☎0238-22148)

■ 法務局の廃止・統合に関する問い合わせ 山形地方方法務局総務課 (☎023-625-1321)

自主納税と滞納

—健康で安全な暮らしの財源のために—

■自主納税について

町税は、納税者の皆さんが定められた期間内に自ら納めていただくもので、これを「自主納税制度」といいます。

町では、町民の皆さんが健康で安全な暮らしができるようさまざまな仕事を行っていますが、町税は、こうした仕事を進めるために必要な財源の根幹をなすものです。



■納税が遅れると

納期限を過ぎても納付されずに放置された場合、督促手数料や思いも寄らない高額な延滞金になる場合もあります。

期間内納付にご理解とご協力をお願いします。



■滞納処分（差押え→換価→町税充当）について

納税をお願いしても納付していただかず、納税相談もなされない場合には、やむを得ず財産の「差押え」を行います。

それでも納付していただけない場合は、これらの財産を公売などにより「換価」町税に充当することになります。

■還付金詐欺にご注意を

税務署の職員を装い、「還付金があります」と言葉巧みにだまして銀行のATM（現金自動預払機）を操作させ、振り込みをさせる手口の被害が発生しています。

税務署の職員や町の税務担当職員などは、還付金の受け取りのために金融機関等のATMの操作を求めることはありません。

不審に感じたら、即答せずに、町民税務課または最寄りの税務署などまでご連絡ください。

【実際に起こった詐欺】

- ①被害者 埼玉県在住 男性 80歳代
- ②被害金額：100万円弱
- ③具体的な手口

昨年12月18日の午前10時ごろ、被害者のもとへ「医療費の控除を5年分還付します。主税局業務課（実際には存在しない課名）に電話をすれば、手続きを教えます」という電話が男からあった。「国税か」と聞くと「都です」と答えた。被害者が指定された番号に電話をしたところ、取引銀行に行くよう指示された。取引銀行へ行き、携帯電話から上記の電話番号にかけ、指示を受けながらATMを操作した。操作が終わったあとで、振込明細書が出てきたため、不審に思い尋ねると「執務上、問題ありません」と言われ、電話を切られた。その後、銀行の窓口で相談したところ、100万円弱（預金残高の半分程度）を振り込んでしまったことが分かった。その後、東京都主税局相談広報係に電話で問い合わせ、だまされたことが判明したので、警察署へ被害届を出した。

問い合わせ
町民税務課収納係
☎85-6106

不動産の公売

町税の滞納により、差押えた不動産を公売します。

▼入札日時 2月21日(木)

午前10時～

▼入札場所 役場2階会議室

▼公売物件

①所在 下山地内

②物件の種類 旅館

③物件の概要

・鉄骨造高床式2階建

・公簿上の面積

1階 176・3㎡

2階 14・46㎡

※敷地については、公売物件には含まれていません。

▼売却予定価格 50万円

▼入札保証金 5万円

※そのほか詳しいことについては、町民税務課で閲覧ください。

■問い合わせ 町民税務課

収納係 (☎85-6106)

家田莊子氏講演会

自分らしく生きるために

— 家田からのエール —

いつ

3月16日(日) 午後1時〜

(昼12時30分開場/終了予定3時)

どこで

パワーセンター

作家の家田さんは、光の当たってなかつた世界や弱者、女性にスポットを当て、直接本人に取材をすることで真実をつかみ、社会問題を提起しています。講演では、これまでの経験を生かして、弱者の立場に立った「生の声」をお伝えいただき、現代社会に生きていくヒントなどお話しさせていただきます。



い え だ し ぶ 子
家田 莊子 (作家・真言宗僧侶)

日本大学芸術学部放送学科卒業。女優、セールスレディ、取り立て屋、コンパニオンなど10以上の職歴を経て作家に。昨年、高野山で真言宗僧侶になる。小説、エッセイ、コミックの原作などの作品も数多く発表。必ず本人に会って取材し真実を伝えるノンフィクション作品に定評がある。著作本は120作品にのぼる。

「極道の妻たち1〜15」「パブルと寝た女たち1〜4」「惚れたらあかん」など30作品以上が映像化されている。

- 日程
- ① アトラクション・とんと昔話の一人芝居/菊地悦郎さん (午後1時〜)
- ② 講演会 (午後1時30分〜)
- ③ パネル展示・書籍販売
- ④ 講演終了後、サイン会・写真撮影予定 (書籍購入者)

- 定員 200人(全席自由)
- チケット 無料ですが入場整理券が必要です。
- 入場整理券取扱 教育委員会、中央公民館、各地区公民館、パワーセンター
- 託児サービス 料金は無料ですが、事前予約が必要です(申し込みは3月7日まで)。

- 主催・共催 山形県、山形県生涯学習文化財団(山形県男女共同参画センター)、白鷹町、白鷹学講座企画委員会、置賜地域男女共同参画講座白鷹町実行委員会
- 問い合わせ 教育委員会生涯学習・スポーツ推進係 (☎85-6147)・総務政策課政
- 策企画係 (☎85-6123)

白鷹町衛生組合連合会主催

「最上川と水」を考える講演会

「最上川の文化的景観」が世界遺産登録候補として提案されました。山形ならではの資産の価値を再認識し、みんなで育てていくために水環境にスポットを当てた講演会を行います。

- いつ 2/26(火) 午後1時30分〜
- どこで パワーセンター

▼内容

1. 講演「最上川と水」
講師 佐藤五郎さん
(米沢中央高校副校長)

2. 事例発表

- ① 萩野地区水質改善事業
- ② 菜の花プロジェクト

- 問い合わせ 町民税務課
くらし・環境推進係 (☎85-6131)

川がつなぐひと・もの・ゆめ ～ from ヨーロッパ to やまがた～

山形県の世界遺産登録に向けた運動が始まっています。わたしたちも関心を高め、登録へつながる市民活動を盛り上げましょう。

- いつ 2/16(土) 午後1時〜午後3時30分
- どこで パワーセンター

▼内容

- ①「世界遺産を目指す意味と価値」
講師 渡部奏山さん(山形県世界遺産推進室長)
- ②「世界遺産の提案コンセプトの方向性」
講師 山口博之さん
(山形県世界遺産推進室企画調査主査)
- ③「世界遺産、観光と地域:日本とドイツの事例から」
講師 フンク・カロリンさん
(広島大学大学院総合科学研究科准教授)

▼入場料 無料(事前にお名前をお知らせください)

- 主催・問い合わせ
美しい山形・最上川フォーラム (☎023-666-3737)

「最上川と文化的景観」
世界遺産登録に向けて



みなさんの広告を「町報」に載せてみませんか？

— 「広報しらたか」では、有料広告を募集します —

町では、産業の振興と町民の皆さんへの生活情報などの提供を目的に、「広報しらたか」の紙面に有料広告を募集・掲載します。

広報紙は、町内全戸に配布されている町民に身近な「町の情報紙」です。広告掲載による宣伝効果は大きく、町民の皆さんの暮らしの充実もつな갑니다。今年4月号から掲載を始めます。ぜひお申し込みください。



【広告概要】

- 掲載できるかた
 - 置賜地区内に住所を有する事業所または事業主
 - 白鷹町に縁のあるかたが関係する事業所または事業主
- 掲載できる広告の内容
 - 公正で真実な内容のもの。
 - 広告の受け手に不利益を与えないもの。
 - 児童及び青少年に与える影響を考慮したもの。
 - 品位を保ち、健全な風俗習慣を尊重したもの。
 - 関係法規及び社会秩序を遵守したもの。
- 掲載規格と価格

(1) 1号広告

- 規格 縦48mm × 横88mm
- 色 2色 (黒とシアン)
- 掲載料 8,000円/回

(2) 2号広告

- 規格 縦48mm × 横180mm)
- 色 2色 (黒とシアン)
- 掲載料 15,000円/回

広告

広告

1号広告イメージ

春 サクラ。

その時を、いま雪の中で待つ息吹

夏はペニバナ、秋はアユ。冬は隠れそば屋のしらたか。

古典桜の見ごろ：4月中旬～下旬

■問い合わせ 産業振興課観光交流係 (☎85-6136)

確定申告

お忘れなく

3/17月まで

各地域の申告相談受付会場は、広報1月号をご覧ください。

■問い合わせ 町民税務課町税係 (☎85-6132)

【広報しらたか（定刊号）について】

- 発行日 毎月12日（休日の場合は繰り上げ）
- 規格 A4版16号～28号程度
- 発行部数 5,700部
- 配布先 町内全戸、町内関係機関、県内関係機関
首都圏在住の町出身者（希望者）など
- その他 白鷹町のホームページでも見ることができます。



広告申込から掲載まで

①申し込み

- 広告掲載を希望する「広報しらたか」の発行日の30日前（前月の12日ころ）までに、専用の申込用紙（広告掲載申込書）に広告案を添えて申し込んでください。
- 申込用紙は、町ホームページからダウンロードできます。また総務政策課情報企画係にもあります。

②審査・決定

- 広告掲載要綱と取扱基準に従い審査し、掲載の可否を決定します。
- 掲載できる場合は、「広告掲載採用通知書」と広告掲載料の納付書を送付します。掲載できない場合は、「広告掲載不採用通知書」を送付します。
- 掲載の優先順位は「国・地方公共団体」「公共的性格のある企業」「町内事業所」「町外事業所」となります。
- 掲載できる広告が多数あった場合は、申し込み順により決定します。

③広告料の支払い

- 広告掲載料は「広告掲載採用通知書」に記されている期限までに、納付書で払い込んでください。
- 広告掲載料は、原則として前納していただきます。
※町指定金融機関で払い込みができます。

申し込みを希望される事業所のかたは、下の手順に沿って、ご応募ください。

④版下原稿作成

- 版下原稿は各自作成し、発行日の15日前までに電子媒体（CD-R、DVD、MO、FD、USBフラッシュメモリ）でお持ちいただくか、Eメールで送信してください。
- 詳しいデータ形式などはお問い合わせください。

⑤確認・編集・印刷

- 編集者が提出された版下原稿データを確認し、ページに割り付けます。
- そのままの形で「広報しらたか」に掲載します。
- 校正は行いませんので、内容に間違いがないようご注意ください。

⑥発行

- あなたの広告が掲載された「広報しらたか」が、町民の皆さんの手に届きます。
- 町のホームページにも広報紙が掲載されます。
※広告は下段のイメージのように掲載されることになります。
※そのほか詳しくは、町ホームページに掲載の要綱・基準をご覧ください。

■問い合わせ

総務政策課 情報企画係（☎85-6121）

E-mail:soumuseisaku@so.town.shirataka.yamagata.jp

広告



四季の美しい暮らしを描く街。

問い合わせ
まちづくり推進課
☎85-6110

四季の郷宅地購入者ご紹介 キャンペーン開催中

宅地購入希望のお知り合いのかたに「四季の郷」をご紹介いただくと、もれなくすてきなプレゼントを差しあげます。また、ご成約された場合はさらに謝礼を差しあげます。

対象者／組合員または一般個人
謝礼／土地販売代金の2.0%

お問い合わせは組合事務所（☎85-3119）まで

(仮称)白鷹町文化交流センター



平成20年12月完成予定
平成21年10月オープン予定

運営にご協力いただけるかたを募集しています

2号広告イメージ

地域の文化財を火の手から防ぐ 深山観音堂自衛消防防隊総合訓練



1月27日、深山観音堂で消火訓練が行われました。文化財文化デーに合わせ毎年行っているもので、地元の深山観音堂自衛消防隊、消防団、白鷹分署の皆さんなど30人が参加しました。半鐘の合図とともに、常設の放水銃2機とポンプ車から伸ばしたホースから放水。雪で足元の悪い状況ながら、素早く消火活動が行われました。地域の心でもある国指定重要文化財は、こうした地元の人びとの日々の努力で守られています。

あれから3年…その教訓を伝えたい

自主防災組織推進セミナー(喜賜総合支庁・白鷹町主催)



1月27日、中央公民館で、自主防災組織推進セミナーが行われました。新潟県中越地震で被災した齋藤隆さん(山古志支所地域振興課長)を講師に招き、地域の防災について学びました。齋藤さんは「震災では地域のつながりがあったから迅速に救助できた。災害に強い地域となるには組織をつくることも必要だが、日常のコミュニティが一番大事。地震の恐怖体験を未来の子どもたちに伝えていきたい」と話しました。

長井線で行く「ちよいっとグル旅」第3弾 豪雪列車・そば打ちとまち巡りの旅



1月19日、豪雪列車が荒砥駅に到着しました。フラワー長井線に乗り置賜各所を一日で旅する企画で、今回は白鷹版。町外からの参加者30人ほどが丈六地藏や八乙女八幡神社を巡りました。目玉企画は全員でそば打ちに挑戦。そば振興会の皆さんの指導を受けながら、そば粉をこねたり伸ばしたりで個性あるそばができてあがりました。味もまた格別の様子。参加者は真冬の白鷹の魅力を経験し、荒砥駅を後にしました。

構想から2年、地域の熱意が結集

第1回十王雪まつり



1月27日、十王地区の山峡の里で、十王雪まつりが行われました。十王地区の青年会(佐藤貴光会長)が中心となり、企画、開催したもの。巨大な雪製の滑り台やスノーランタンが準備されました。特に「十王雑煮合戦」では、チームごと特色ある6つの雑煮鍋が振る舞われました。子どもたちも「いろんなあったかい雑煮があっておいしい」とニコニコ顔。地域の皆さんが身を寄せ、心を一つにした行事となったようです。

荒砥高校と鮎貝小学校の 交流発表会

1月28日、荒砥高校と鮎貝小学校の交流発表会が行われました。両校が取り組む福祉や環境の学習を発表し合い、次代を担う子どもたち自らが問題意識を持つていこうというもので、今年で3年目。高校生は、町内福祉施設での職場体験について発表し、利用者のかたとのふれあいから得た言葉やあいさつの大切さを伝えました。また、小学生は、りんごの摘果作業から福祉施設に届けるまでを振り返り、自分たちの手掛けた作物を人びとに食べてもらう喜びなどを伝えました。

この交流を通し、人びとのかかわりや環境の大切さを学んだ児童生徒。今後の学校生活に生かしてほしいですね。



▲荒砥高校吹奏楽部の発表ではアニメソングなどが演奏され、頭を振り笑顔でリズムを取る子どもたちもいました。

白鷹町の元気100歳・笑顔100彩

1月4日と7日、今年100歳（数え年）を迎えられるかたがたに、町から祝品の打出の小づちと祝金が贈られました。

明治42年生まれの4人のかたがたが100歳を迎えられました。本当におめでとうございます。皆様のご長寿の秘訣は、好き嫌いなく何でも食べることにあります。わたしたちも見習いたいものですね。これからもお元気でお過ごしください。



児玉志めさん(高玉)



齋藤ことさん(荒砥)



佐藤あさるさん(黒鴨)



鈴木ちとせさん(中山)

第19回白鷹町スポーツ振興懇談会

1月19日、パレス松風において、町内スポーツ関係者約70人が出席し、白鷹町スポーツ振興懇談会が開催されました。開会に先立ち、白鷹町体育協会表彰が行われ、町のスポーツ指導に功績のあったかた、競技者としてすばらしい成績を収めたかたがたが表彰を受けました。

引き続き行われた「総合型地域スポーツクラブ啓発フォーラム」では、中山総合スポーツクラブ準備委員会（中山町）事務局長の今野芳さんから「スポーツを通じた元気あるまちづくり」と題し、クラブ設立に向けて尽力している話をお聴きしました。

平成19年度白鷹町体育協会表彰の皆さん

●指導功績賞

戸借清策（中山）

鷹山地区社会体育振興会

●殊勲賞

岩澤 優希（山口）

剣道・左沢高校

鈴木 豊（中山）

陸上・山形大学

信夫 香織（鮎貝）

陸上・山形城北高校

●栄光賞

海老名大空（箕和田）

陸上・長井高校

江口 聡（山口）

ソフトボール



AEDが蚕桑地区公民館に設置されました

このAED（自動体外式除細動器）は、山形県が救護体制の充実を目的に展開している「AED集落設置推進事業」を活用して導入され、蚕桑地区公民館の玄関付近に設置されました。

2月2日には、講習会が行われ、蚕桑地区の皆さん28人は白鷹分署の救命救急士のかたから、心肺蘇生法やAEDの操作方法などを教わりました。

梅津美智代さん(荒砥乙)が山形県自作視聴覚教材コンクールで入選

梅津美智代さん制作の紙芝居「弘法水 せんねん生きた 菖蒲の伝説」が、今年度の県自作視聴覚教材コンクールで優秀な作品と認められ、社会教育部門で入選しました。

梅津さんは、菖蒲地区に湧く清水にまつわる話を本で読み、千年もの間弘法大師の言葉を伝えてきた菖蒲の人びとの心意気に感動し、その物語を多くの人びとに伝え、次の世代にも語り継いでいきたいと紙芝居を作りました。

地域に伝わる物語が繊細にいきいきと表現されています。子どもたちの心にも響くことでしょう。本当におめでとうございます。



ありがとうございます
町にたくさんの方の寄付をいただきました

平成19年度、これまで白鷹町に対して寄付いただきましたかたがたをご紹介いたします。いただいた志などは、白鷹町の安全安心、福祉、教育など、町民サービスの向上のために大切に使用させていただきます。心より御礼申し上げます。



●ホークス会様

4月24日、ホークス会(会長 大嶋勝)様より、ごぶしの家運営への助成を目的として、現金10万円を寄付いただきました。同施設の利用者のために、有意義に使わせていただきます。

●東北電力長井営業所様(長井市)

5月17日、東北電力株式会社長井営業所(所長 吉野進)様より、街路灯(20ワツ蛍光灯)12灯を寄贈いただきました。町の安全安心、防犯のため、町内各所で使わせていただきます。



●丸山正志様(荒砥甲)

6月13日、丸山正志様(荒砥甲)より、荒砥小学校に対し絵画を寄贈いただきました。

●小角又次様(東京都)

8月29日、小角又次様より、水彩画6点と画集を寄贈いただきました。町内公施設などに飾らせていただきます。

●(匿名希望様)

9月14日、町の福祉向上のために、現金20万円を寄付いただきました。老人福祉関係の備品購入のために、大切に使用させていただきます。

●橋本善男様(山形市)

9月26日、橋本善男様より、現金100万円を寄付いただきました。町発展のために有意義に使わせていただきます。



●山形おきたま農業協同組合様、全国共済農業協同組合連合会山形県本部様(山形市)

10月1日、山形おきたま農業協同組合様、全国共済農業協同組合連合会山形県本部様より、カーブミラー4基を寄贈いただきました。交通安全と事故防止のため、町内各所で使わせていただきます。

●安部九郎様(荒砥甲)

10月5日、安部九郎様より、町の教育振興のため、アップライトピアノ1台を寄贈いただきました。蚕桑小学校で大切に使用させていただきます。

●嶋林光夫様(荒砥甲)

12月、嶋林光夫様より掛け軸1幅を寄贈いただきました。

●安部 武様(十王)

12月28日、安部武様より、門松1対を寄贈いただきました。1月中旬まで役場玄関に飾らせていただきました。

●羽黒電子株式会社(米沢市)

1月23日、羽黒電子株式会社(社長 須藤隆司)様より、町の福祉に役立ててほしいと車いす1台を寄贈いただきました。同社が環境保全の取り組みの一環として行っているアルミ缶回収活動から確保された車いすです。



荒砥駅前交流施設資料館特別展パート1

祝・県無形文化財指定(平成19年12月25日)
本場米琉白鷹板締め小糺

膳びなと版画展

白鷹が養蚕で栄えた明治・大正・昭和の品を中心に展示します。ひな人形が放つ、当時の人びとの息吹を感じてください。

●期間 2月～3月末



バリアフリー



町の健康増進計画（元気ニコニコしらたか21）では、町民の元気な暮らしのために、たとえ障がいがあっても地域の人や仲間と交流し楽しみや生きがいをもって暮らせることを目指しています。
これを受けて、「バリアフリー」推進について取り組んでいます。

出入り口の段差をなくす、廊下に手すりを付ける、歩道に展示ブロックを施すなどが思い浮かびます。これもとても大切なことですが、バリアフリーの対象はもっと広いのです。不自由な状態には歩行が困難などの「身体」だけではなく「心身」ととらえることが大切であるされています。たとえば認知症のお年寄りについてどう考えればよいのでしょうか。あるいは「心にひいた風邪」といわれる「うつ」については…。認知症やうつ病などは、だれでもなりうる病気です。

体の不自由な人やお年寄りであっても、心に障がいを持っていても、元気な人と同じく社会参加ができ生活の質を高めていくことができることが理想とされます。

みんなにやさしい…バリアフリーとユニバーサルデザイン
出入り口の段差をなくす、廊下に手すりを付ける、歩道に展示ブロックを施すなどが思い浮かびます。これもとても大切なことですが、バリアフリーの対象はもっと広いのです。不自由な状態には歩行が困難などの「身体」だけではなく「心身」ととらえることが大切であるされています。たとえば認知症のお年寄りについてどう考えればよいのでしょうか。あるいは「心にひいた風邪」といわれる「うつ」については…。認知症やうつ病などは、だれでもなりうる病気です。



ユニバーサルデザイン（万人向け設計）
＝障がい者・お年寄り・健常者の区別なしに、すべての人が使いやすいように製品・建物・環境などをデザインすること

◀イラストのような自動販売機を見たことありますか。お金を入れる所と商品の取り出し口が、車椅子で利用しやすい位置にある自動販売機。元気な人でもしゃがまずに楽に商品を取り出すことができます。このようなデザインは健常者にもやさしいですね。障がいを理解し、ふれあうことも心のユニバーサルデザインです。

健康のひろば

②見守りネット
日常生活を営む能力に低下が見られるため、本人・家族だけでは負担が大きく、支えるネットワークが必要となります。病気や障害特性を正しく理解し見守ることが心のバリアフリーの第一歩です。見守りネットワークにご協力ください。

■「認知症」「うつ病」の相談については、地域包括支援センター（☎86-10112）・健康推進係（☎86-10210）まで連絡ください。

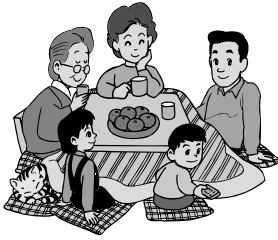
①早期発見、早期治療
病気を正しく理解し、異常に早期に気づき、専門機関に相談・受診することが大切です。怖いのは、心の病気がかかったことではなく、それに気づかないで放置しておくことです。

《ケアのポイント》
どちらもお年寄りや家族にとっては、非常に負担の大きい病気です。心の健康、心のバリアフリーの視点の支援が必要となります。

●うつ病とはどんな病気でしょうか？
うつ病は、気分の落ち込みが長期間続き、日常生活に支障が表れるまでになることです。

●認知症とはどんな病気でしょうか？
認知症は、記憶や認知に障害が表れ「ご飯を食べた」を忘れるなど、日常生活が大変混乱する病気です。

“心の健康づくりワンポイント”
お年寄りに多い「認知症」「うつ病」について



“元気ニコニコしらたか21”を町民と行政が協働で推進しています！（元気ニコニコ推進会議）

白鷹町認知症高齢者
見守りネットワーク

**見守り
支え合い**

お年寄りが地域で安心・安全に暮らせるよう応援します

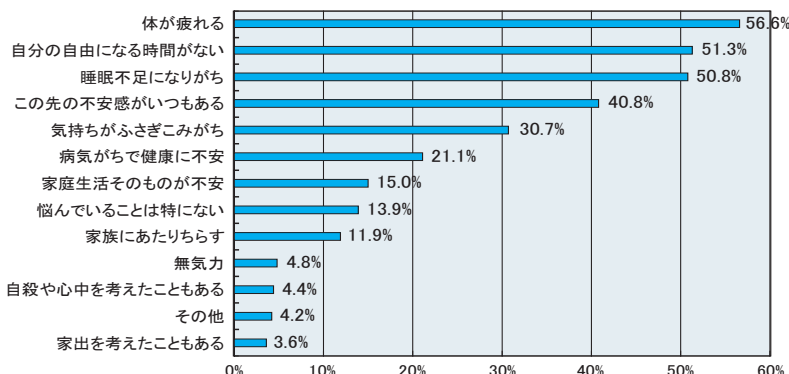
介護ワンポイントアドバイス
地域包括支援センターTel.86-0112

川崎幸クリニック院長・杉山孝博さんの「上手な介護の12カ条」を紹介しています。

第12条 「自分の健康管理にも気をつけて」

日本精神病院協会の調査によると、介護の悩みとして下記のグラフのような結果が出ています。

高齢の介護者が多いこと、たった一人で介護しなければならぬ例が少なくないこと、また、家事や仕事に気の許せない介護が加わること、そして介護がいつまで続くのかわからないという将来に対する不安があることなどから、介護者の健康管理は非常に重要です。



◀グラフ 介護者の悩み

少なくとも年に1回は、健康診断を受けるようにしましょう。介護者の身体的・精神的・社会的（家庭的）健康が、家庭介護の最も重要な基本です。

■介護に関することは、地域包括支援センターにお気軽にお問い合わせください。

映画「ふみ子の海」上映会



戦前の新鴻を舞台に、暗い世相の時代に貧困と差別の中に置かれた一人の盲目の少女の物語です。過酷な境遇でも教育に憧れ、学ぶ喜びを感じ、やがて盲教育への道を歩もうとする少女の希望と、その希望を叶えようとする大人たちの姿。真実の力強さで、人びとを励まし、希望へと向かわせてくれることでしょう。

▼いつ 3月15日（土）

①午前10時30分

②午後1時30分

③午後4時

④午後6時30分

▼どこで パワーセンター

▼料金

○前売 一般 1200円
小中校生 800円

○当日 一般 1500円
小中校生 1000円

▼チケット パワーセンター、各実行委員からお買い求めください。

▼主催 白鷹活動写真倶楽部

■問い合わせ パワーセンター
1（☎86-0001）

「町報川柳」

新鮮

菊地 克一 選

佳作	新鮮な香り漂う青畳	自家野菜派手ではないが新鮮で	客足を今日も伸ばした直売所	朝採りの青菜市場が混んでいる	朝市の野菜に露が映えている	新しい背広出勤もう近い	新鮮な朝の空気を深呼吸吸	新鮮を売り物にする朝の市	正月の妻新鮮に見違える	新鮮な自家取り野菜で足りる幸	エプロンの白がまぶしい新所帯	新鮮さ地産地消の命です	まな板の上ではねてる新鮮魚	朝刊の匂い新鮮いい目ざめ	新鮮が命無人の直売所	過疎の里清水ざんぶと青野菜	新鮮な若い感覚意表つく	新鮮な野菜寝ている雪の下	魚市場青い鮮魚ににらまれる	さわやかに青い背広が今巢立つ	新鮮な表示に偽装見え隠れ	新鮮を売りの老舗が偽装する	朝採った新鮮野菜送る母	新鮮な感動孫にありがとう	新鮮な夢追いかけた青春歌	粗食でも新鮮野菜飾る膳	浜近い刺身のうまいこと	地位 新鮮な音で大根漬けを食う	天位 直売所露を背負って茄子胡瓜	目出鯛の気品を盛った活け作り	次回 「枕」二月末まで、「響く」三月末日まで。	はがきに三句 白鷹町荒砥乙四二八一二 高橋 白兔 宛	前回1月号の「色あせた野良着中々捨てがたい」の作者は、	金田コトさんでした。お詫びして、訂正いたします。
畔藤	山王	高玉	高玉	畔藤	横田尻	滝野	畔藤	畔藤	十王	長野	荒砥甲	荒砥甲	畔藤	荒砥甲	荒砥甲	荒砥乙	山口	滝野	高岡	十王	佐野原	鮎貝	世田谷	浅立	荒砥乙	浅立	高岡	畔藤	鮎貝	次回	はがき	前回	金田	
梅津	石川与次衛門	高橋	高橋	川井	金田	海老名達夫	赤間	志鎌はる	坂本	井澤芙佐子	菅原	横山	渡部喜美子	海老名きち	長岡みち子	鈴木	五十嵐あきよ	植木	遠藤	八重	小形	義三	大滝	栄子	梅津たつ	安部	堀内	五十公野	克二	宛	作者	金田		



豆いり (豆まきの日)

A夫「なにしたな？」
 保育士「『豆まき』の豆いりしているんだよ」
 A夫「あっ、豆跳ねたよ」
 B夫「プチプチ音してる。あっち、あっちで言ってる見たい！」
 A夫「こっちな踊っているよ。遊んでいるみたい」
 保育士「そうだね、楽しそうだね」

まっかなほっぺ

お昼寝の後
 K子「Yくんのほっぺ、赤くてりんごみたい」
 A子「大好きなHちゃんが隣さ寝ったからでない」
 K子「そうだね」
 Y夫（ニコニコ!）



雪道の安全な運転をお願いします



冬期間は、時間に余裕をもって、スピードを抑え、自動車を運転してください。特に「橋の上」「トンネルの出入口」「日陰部分」の路面凍結に注意して通行するようにお願いします。

また、横断歩道がある場所で横断しようとする歩行者がいても、止まらずスピードを出して走り去る車があります。特に、児童生徒の通学時間帯において危険な場面が見られるようです。自動車の運転者はしっかり止まって、安全に渡らせてあげるなど、歩行者に優しい運転を行い交通ルール・マナーを守りましょう。

この時期は、積雪により道幅も狭くなります。携帯電話を使用するなど、道路わきに停止している車を見かけますが、歩行者や通行中のドライバーにも迷惑になり大変危険です。駐車帯を利用するなどして、道路わきに停車しないようにしましょう。

ゆとりある運転と思いやりを持って、交通事故防止に努めましょう。

冬道の安全運転五則

- ①スピードは夏場より10キロ以上減速する。
- ②車間距離は路面乾燥時の2倍以上とする。
- ③急加速、急ブレーキ、急ハンドルなどの急激な操作を避ける。
- ④視界不良時は、前方をよく見て早めに徐行する。
- ⑤危険がいっぱい。追い越しはしない。

■問い合わせ 総務政策課生活安全係 (☎85-6122)

2月及び3月の年金相談窓口のお知らせ

現在、社会保険庁からの「ねんきん特別便」が昨年12月より順次送付されています。「ねんきん特別便」に対する手続きや相談に対応するため、社会保険事務所の年金相談窓口の休日開庁及び平日夜間延長を行うことになりました。

【休日開庁】

●対象 県内すべての社会保険事務所
 酒田年金相談センター

●期日

2月9日(土)、3月8日(土)、3月9日(日)

●受付時間

午前9時30分～午後4時

【平日の相談時間延長】

平日(月曜日から金曜日)の社会保険事務所の年金相談については、原則として受付時間を午後7時まで延長します。

■問い合わせ

米沢社会保険事務所 (☎0238-22-4220)

社会保険庁職員を装った
不審電話にご注意ください

社会保険庁職員を装い、個人の自宅に電話をし、現金自動預け払い機(ATM)を操作させ、振り込みを行わせるなどの「振り込め詐欺」と思われる電話が、今年に入って多発しています。不審電話があった地域は村山地区、庄内地区で確認されています。

社会保険事務所が各種給付金の支払いを行う場合に、職員が電話連絡で、お客様に金融機関などへの誘導、ATMの操作及び携帯電話の操作などをするようお願いすることは一切ありません。

「怪しい」と感じたら、その場で対応せず、一旦電話を切り、相手の電話番号などを確認のうえ、お近くの社会保険事務所に至急ご連絡をお願いします。

■問い合わせ

山形社会保険事務局 (☎023-629-7255)

●おきたま雛回廊 あゆ茶屋古代雛展示 ▼いつ 2月9日(土)～3月4日(火)午前10時～午後5時 最上川舟運文化の象徴として庄内～村山～置賜の
 おひなさま街道が人気です。おきたま雛回廊の一貫で、今年から古代雛の展示します。ぜひお越しください。■問い合わせ あゆ茶屋(☎85-15577)

情報 あらがる Information!

役場は ☎85-2111



白鷹町史談会の歴史講演会 ・研究発表会

- ▼いつ 2月23日(土) 午後2時
- ▼どこで 中央公民館大会議室
- ▼内容
 - (1)講演「大立目氏と荒砥城」
講師 井上俊雄さん(いいで歴史考古の会会長)
 - (2)研究発表
 - ①「仏教について」
丸山正志さん

②「栲漣山の神の神像について」

- 佐藤与七さん(栲漣出身)
- ▼参加費 無料
- ▼主催 白鷹町史談会、白鷹町教育委員会
- ▼申込・問い合わせ 教育委員会文化振興係(☎85-6146)

定住外国人子育て語ろう会

- 今年も、子育て支援センターの「心広がるふれあい講座」として行います。
- ▼いつ 3月2日(日) 午前9時30分～11時30分
- ▼どこで 健康福祉センター
- ▼対象 定住外国人のかたで、小学校3年生までのお子さんのいるかた

- ▼内容
 - ①「豊かな食生活で健康子育て」をテーマに、外国の手づくりおやつを試食や、大豆・野菜を使った健康レシピの紹介
 - ②白鷹町の子育て支援サービ

- スや日本語学校の紹介
- ▼締め切り 2月28日(木)
- ▼申込・問い合わせ 子育て支援センター(☎86-0212)

白鷹町婦人会研修会

- 女性としての生き方、そして楽しく元気になれるお話を聞きします。
- ▼いつ 3月1日(土) 午後1時30分(開場午後1時)
- ▼どこで 健康福祉センターすこやかホール
- ▼テーマ「女性が輝く元気な町に」
- ▼講師 関千鶴子さん
- ▼入場料 無料
- ▼問い合わせ 教育委員会生涯学習・スポーツ推進係(☎85-6147)

のどか村・深山の匠作品展

- つる・わら細工など、匠の作品がのどか村に集まります。
- ▼いつ 2月16日(土)～24日(日) 午前10時～午後3時
- *火曜日は定休日です。
- ▼どこで いきいき深山郷のどか村
- ▼内容
 - ①白田重郎さん、羽田卯兵衛さん、樋口亀代さん、樋口久一さん、岩澤桂太郎さんの遺作品
 - ③恒例のパッチワーク



④深山工房・和紙センターの作品もご覧ください。

- ▼入場料 無料
- ▼いつ 2月16日(土) 午後5時30分
- ▼会費 予約制2000円
- *雪灯籠をつくって待っています。ぜひおいでください。
- ▼予約・問い合わせ いきいき深山郷のどか村(☎85-0380)

荒砥高校吹奏楽部合同演奏会

- 今年も荒砥高校吹奏楽部では、一般愛好者のかたがたとの合同演奏会を開催します。日ごろの活動の成果をお聞きください。
- ▼いつ 2月24日(日) 午後2時開演(午後1時30分開場)
- ▼どこで 中央公民館大ホール
- ▼曲目
 - 第1部「未来へ」AM11:00「宮崎駿アニメメドレー」
 - 「イケナイ太陽」ほか全6曲
 - 第2部「風之舞」「アパラチアン序曲」[Mission Impossible]「パイレーツ オブ カリビアン」ほか全6曲
- ▼問い合わせ 荒砥高校/福岡・齊藤(☎85-2172)

「布と糸の会」パッチワークサークル作品展

- ▼いつ 2月19日(火)～26日(火) 午前9時～午後5時
- ▼どこで 白鷹キリスト教会
- ▼問い合わせ 佐藤八重子(☎85-3929)・白鷹キリスト教会(☎85-0179)

おきたま味土里のメニュー発表会

- ▼いつ 2月28日(木) 午後1時30分～3時30分
- ▼どこで タスパークホテル
- ▼内容 置賜冬採り野菜の紹介、冬採り野菜を使ったメニュー紹介、試食
- ▼参加費 無料
- ▼定員 先着30人
- ▼募集期間 2月12日(火)～20日(水)
- ▼その他 託児サービスを実施します(要申込)。
- ▼申込・問い合わせ 置賜総合支庁農業振興課(☎0238-26-6051)

地場産の米・大豆でみそづくりを体験しませんか

- ▼いつ 3月4日(火)、12日(水)
- ▼どこで 置賜総合支庁西庁舎
- ▼内容 地場産の米と大豆を

使ったみその仕込み体験

▼対象 置賜地域に在住または就業するかた(家族を含む)で、2日間参加できるかた

▼募集人員 各会場30人

*初めて参加するかた優先

▼参加費 2500円(約10プログラムのみそができます)

▼募集期間 2月20日(水)～26日(火)

※詳細は、申し込みいただいたかたに別途ご連絡します。

■問い合わせ 置賜総合支庁農業振興課(☎0238-2616051)



第28回白鷹町バスケットボール大会参加チーム募集

▼いつ 3月2日(日)

午前8時30分開始

▼どこで 東中学校体育館

▼種目 一般男子・中学男子

・中学女子・ミニバス

▼参加資格 町内にお住まいのかた、または通勤通学している学生・社会人のかた

▼試合方法 一般の部は地区対抗、中学の部は東中、西中

の対抗のトーナメント方式、ミニバスケの部は東西の対抗とします。

▼締め切り 2月25日(月)

▼申込方法 保険料一人250円を添えて、バスケットボール協会事務局まで申し込みください。

※大会まで練習日を設けています。お気軽に参加ください。

○毎週月・木曜日午後8時～

○東中学校体育館
■問い合わせ バスケットボール協会事務局(町民税務課内・佐藤/☎85-6130)

ふれあい看護体験参加者募集

患者さんとのふれあいを通して、命や医療、看護について考えてみませんか。

▼いつ 5月11日(日)～17日(土)の期間内

▼体験できる施設 県内病院福祉施設など

▼対象 高校生以上で初めて参加されるかた

▼申込期間 2月18日(月)～28日(木)

※体験施設や申込方法などの詳細はお問い合わせください。

■問い合わせ 山形県看護協会(☎023-685-8033)



2月17日の町営スキー場の営業について

白鷹町営スキー場は、第36回白鷹町民・白鷹町小中学校スキー大会の開催のため、2月17日(日)は午後2時ごろまで一般利用できません(大会終了後、一般利用できます)。

なお、スキー大会の進行状況によっては、一般利用の開始時間が前後する場合がありますので、ご了承ください。

■問い合わせ 教育委員会生涯学習・スポーツ推進係(☎85-6147)

労災年金受給者の巡回相談会

相談は一切無料です。個人情報や相談内容などの秘密は厳守します。

▼いつ 3月11日(火)

午前10時～昼12時

▼どこで 中央公民館第1・2研修室

▼内容 受給している労災年金のこと、日常生活上の悩みや心配事、法律上の問題など

▼お願い 就職のあつせんや融資を受けるための金融機関との交渉、結婚の紹介などは行いません。

※申し込みが必要です。申込方法はお問い合わせください。

■問い合わせ 労災年金福祉協会山形労災年金相談所(☎023-624-5384)

2009ハローワークやまがた学生就職ガイダンス

①東京会場

▼いつ 4月11日(金) 昼12時30分～午後4時(受付昼12時～)

▼どこで 六本木ジョブパーク

②山形会場

▼いつ 4月25日(金) 午後1時～4時30分(受付昼12時30分～)

▼どこで 山形ビッグウィング

▼対象 大学・短大・高専・専修学校などの平成21年3月卒業予定者

▼内容 複数の企業と個別ブースで面談。そのほか職業相談コーナーなども設置します。

■問い合わせ 山形県若者就職支援センター(☎023-647-0363)・山形労働局職業安定課(☎023-626-6109)

C型肝炎ウイルスの検査相談窓口の開設

平成6年以前に、大量出血時の止血のためにフィブリノゲン製剤を投与されたかたは、肝炎ウイルスに感染している可能性が一般のかたより高いと考えられます。厚生労働省は1月17日に政府広報で、フィブリノゲン製剤の納入先とされている医療機関をあらためて公表し、肝炎ウイルス検査の呼びかけを行いました。置賜保健所では臨時の検査相談窓口を設置します。

▼いつ 2月13日(水)

①午前10時～昼12時

②午後1時～4時

▼どこで 置賜総合支庁西庁舎
▼相談内容 面接相談と血液検査

▼検査項目 C型肝炎抗体検査(結果は2週間後にお知らせします)

※検査は無料ですが、事前にお問い合わせください。

※定例の相談・検査は、毎月曜日午後1時～2時に行っています。

■問い合わせ 置賜保健所地域保健予防課感染症予防担当(☎0238-22-3002)

戸籍の窓

●1月1日▶1月31日

ご結婚おめでとう

氏名	住所
幸美 史子 昌子	鮎貝市乙
善奈 貴幸 宏智	横鮎長荒
竹林 山葉 上尾	横鮎長荒
小石 秋村	横鮎長荒

こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
荒砥甲	橋本 吾新	晶乃丞
佐野原	竹田 則香 良友	あおい
鮎貝	佐藤 晴美 光睦	聖悟
十王	新野 亮世 光	悠人
十王	田口 貴子 美明	大と
鮎貝	横澤 壘子 圭	悠人
横田尻	小林 雄沙 政美	菜葉
箕和田	馬下 弥貴 和美	優弥
箕和田	大沼 昇幹	佳和

おくやみ

住所	氏名	年齢
萩野	海老名 飛次	82
鮎貝	田勢 留次	89
荒砥甲	守谷 こみ	94
山口	渡部 みのり	89
中山	藤布 琢三	103
中畔	藤佐 根平	92
荒砥甲	関大 津義	92
荒砥乙	野梅 竹野	81
萩野	広野 新野	31
広野	野新 田つ	77
広野	野新 田つ	98
横田尻	田合 落袋	91
十王	藤衣 新野	89
畔	藤衣 新野	93
鮎貝	新菅 間川	92
荒砥乙	菅丸 樋口	89
横田尻	岡樋 須川	76
高岡	高岡 一	88
高山	山口 村よ	83
荒砥甲	川合 勝心	95
荒砥甲	玉長 谷部	62
荒砥甲	中柴 敬	97
荒砥甲	柴田 敬	88
高玉	金修	84
横田尻	奥山	65
		87

今、少し雪が降り続けている。早いもので、新しい年に入ってもう1カ月が経過した。平成20年、年齢でいうなら平成の時代も二十歳になったことになる。平成に入ってから年々の変化は、あまりに激しい。成人らしい大人の対応が求められると感じるこのごろである。

わが白鷹町では、20年前と比較し、道路や施設など社会資本の整備が進み、産業形態も移り変わってきた。また、観光資源の掘り起こしや創出により、交流人口も飛躍的に拡大している。また、少子高齢化が進むに連れ、福祉や教育の形態も大きく変化を求められてきた。平成時代の白鷹町は、これからの発展のため、その基盤をどのように整備すべきなのか。その一つ、交流基盤について表面的にあらためて見てみたい。

町の中央を山形県の母なる川「最上川」が北上する（先般、県・市町村において最上川の世帯遺産登録を目指し文化庁に提

案した。そのメイン遺産の一つが、本町部分で発見された最上川の舟道である。そして三方が、風景として見る人を引きつける深みのある山並みに囲まれている。最上川にかかる荒砥橋を接点として、川を挟んで市街が形成されている。山麓あるいは山里に家並みが連続・点在し、田園が最上川に向かって広がる。ほどよいバランスで土地が活用

町長随想 『新春所感』 74

さており、ほぼ理想的な配置と思う。人口約1万6300人、面積158平方キロメートル。このような本町の地図に、交流拡大の基本となる交通網を考えてみたい。これからの国土軸を考えると、東日本では太平洋側の仙台市、日本海側の新潟市の両市が、国内・国際的な視点から拡大発展するであろう。今後、人の流れ、物の流れは一層


町を中心とした交流では、周辺地域としては長井市、山形市、朝日町が現実的に最も連関の強い交流軸であり、町民の活動エリアとなっていくであろう。そして、そのほかの地域は町民活動の視点からは広域エリアである。これら時間距離と地域特性の持つ意味は大きい。大きな視点から見ても、また周辺の視点から見ても、本町の交流拡大

の基礎的な地理条件は整っているのである。道路によって交流軸は変化し、促進されるのは、明白な事実である。

鮎貝まちづくり事業の推進により、鮎貝駅側からの道路の骨格が明確になった。いずれ荒砥橋側への道路整備、かつ新荒砥橋の建設により、鮎貝側と荒砥側は平面的にも、精神的にも一体感が増幅し地域力が強まる。そして、本町における東側・西側の全エリアは、地域として農村としての重厚さ・役割を保ちつつ、各々の個性化を強めていくことになる。そのための戦略と努力は言わずもがなである。

日本の農村地域における地域形態として、白鷹町はコンパクトな、住みやすい、活力ある、交流の活発な、そして地域に誇りの持てるまちづくりを町民のかたがたとともに、全力で目指したい。

▼2月4日は立春。でも、この時期が一番寒い季節です。雪が春が良いですよ」と町の人が旅人に言いました。雪の中で春を待つ植物、大地、わたしたち。厳しい冬を経るからこそ、暖かい春を迎える喜びは大きく、そして力強さを生むのです。立春が過ぎました。白鷹は少しずつ春に向かいます。(つめこ)



▼2月3日は節分。わたしも豆を撒きました。表紙の子どもたちのような笑顔ではありませんでした。季節の変わり目に生じる邪気を追い払うため、豆を撒き、無病息災を祈るともいわれます。昔から伝わる年中行事には、多くの思いが込められています。一年を通し、節目節目で感謝したり、心を洗ったり、自分を見つめ直したりできる日本はすばらしいですね。

戸籍の窓にのせたくないかたは、届出のときに戸籍年金係にお申し出ください。